

三菱UFJ NASDAQオープン Bコース

追加型投信／海外／株式

第20期（決算日：2016年8月1日）

作成対象期間

（2015年8月1日～2016年8月1日）

第20期末（2016年8月1日）	
基準価額	7,126円
純資産総額	5,149百万円
騰落率	-20.3%
分配金合計	0円

信託期間を従来の2016年7月31日から2021年7月30日へ延長しました。

受益者のみなさまへ

投資家のみなさまにはご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

三菱UFJ NASDAQオープン Bコースは、このたび第20期の決算を行いました。

当ファンドは、NASDAQ登録株式を実質的な主要投資対象とし、新技術・新製品開発力、すぐれたビジネスモデル、マーケティング力を基に、長期的な成長が期待できる企業に着目し、選別投資を行ってまいりました。また、銘柄選定に際しましては、フリーキャッシュフロー面からの割安感も考慮し、成長性を有しつつも、株価が相対的に割安な銘柄を主要投資対象としました。

当期は、NASDAQ市況（ローカル）がほぼ前期末比変わらずとなる中、一部インターネット関連株が好業績を背景に上昇したことなどがプラスに貢献したものの、保有するバイオ株などの株価調整、また為替が円高・ドル安に振れたことなどが影響し、基準価額は下落しました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。引き続き、長期的な成長が期待できるNASDAQ登録企業に投資を行い、パフォーマンス向上に努めます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記〈照会先〉ホームページにアクセスし、「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、ファンドの詳細ページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

〈照会先〉

- ホームページアドレス
<http://www.am.mufg.jp/>
- お客さま専用フリーダイヤル
0120-151034
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土・日・休日・12月31日～1月3日を除く）



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号

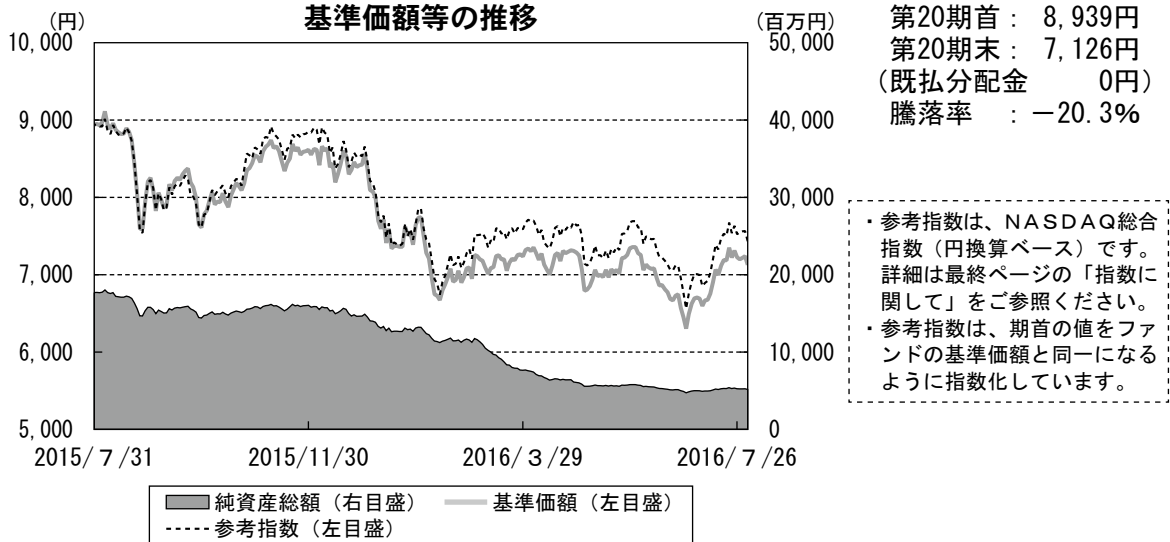
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第20期：2015/8/1～2016/8/1)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ20.3%の下落となりました。



基準価額の主な変動要因

下落要因

大半の個別銘柄の株価が下落したこと、および為替が対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2015年8月1日～2016年8月1日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	128円	1.646%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(60)	(0.780)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(59)	(0.758)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(8)	(0.108)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	35	0.450	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	(35)	(0.448)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.004	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.004)	
(d) その他費用	2	0.027	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.023)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	165	2.127	
期中の平均基準価額は、7,758円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

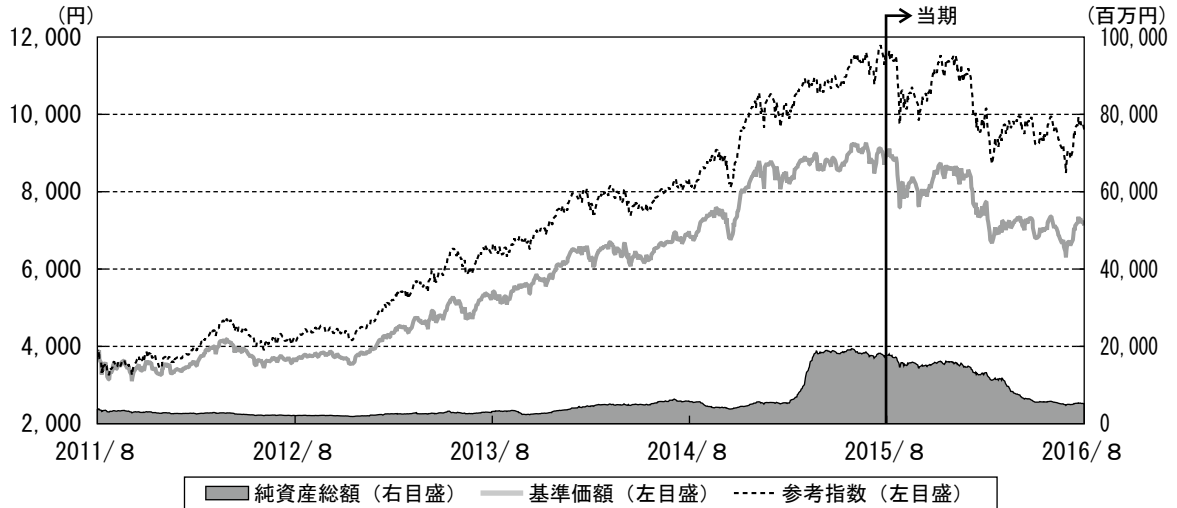
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2011年8月1日～2016年8月1日)



- ・参考指数は、2011年8月1日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2011/8/1 期初	2012/7/31 決算日	2013/7/31 決算日	2014/7/31 決算日	2015/7/31 決算日	2016/8/1 決算日
基準価額 (円)	3,903	3,660	5,247	6,981	8,939	7,126
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率	—	-6.2%	43.4%	33.0%	28.0%	-20.3%
参考指数騰落率	—	7.2%	54.0%	29.4%	38.6%	-16.9%
純資産総額 (百万円)	3,777	2,105	3,119	5,867	17,683	5,149

参考指数は、NASDAQ総合指数 (円換算ベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

(第20期：2015/8/1～2016/8/1)

◎NASDAQ株式市況

- ・2015年8月には、中国景気減速への懸念から世界的に株式市況が動揺し、NASDAQ株式市況も調整局面を迎えることとなりました。また、9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）において利上げ開始が見送られたことが、むしろ景気不安を想起させることとなり、調整局面が続きました。その後、2015年末にかけては、ECB（欧州中央銀行）の追加金融緩和に前向きな姿勢などを好感し戻り基調となりました。12月のFOMCにおいて利上げが行われましたが、概ね織り込み済みだったとみられ、大きな波乱要因とはなりませんでした。
- ・2016年初より、市況は中国株式市況下落と世界的な景気減速懸念、原油価格下落を受け、大きく調整する展開となりました。しかしその後は、原油価格の反発、各国の中央銀行より景気減速回避に向けての対策が打ち出されたことにより戻り基調となりました。2016年6月の英国の国民投票でEU（欧州連合）離脱支持が上回ったことによる混乱も一時的なものにとどまりました。

◎為替市況

- ・期首に比べ、対ドルで17.4%の円高・ドル安となりました。米国の景況感後退、リスク回避の動きに伴う円買いなどを背景に、円高・ドル安が進みました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<三菱UFJ NASDAQオープン Bコース>

- ・当ファンドは、NASDAQマザーファンド受益証券を通じて、NASDAQ登録株式（REIT（不動産投資信託証券）含む）に投資しました。
- ・その結果、基準価額は期首に比べ20.3%の下落となりました。

<NASDAQマザーファンド>

基準価額は期首に比べ19.3%の下落となりました。

- ・NASDAQ登録株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。インターネット、バイオ・テクノロジーなどの成長産業に注目し、特に有望と思われる企業に選別投資を行いました。銘柄選定にあたっては、フリーキャッシュフロー面からの割安感にも着目しました。
- ・銘柄数は、期首時点においては、中小型株も含めある程度の分散投資を行っていたことから、60銘柄程度としていました。
- ・当期においては、テクノロジー、ヘルスケア、消費の各業界において、規模を生かせる大手企業と中小企業の業績格差が拡大するとの見通しの下、中小型株の売却、大型株の組入比率引き上げといった変更を行いました。結果として、2015年12月末以降、期末に至るまで組入銘柄数は30銘柄程度にて推移させました。

以上の結果、個別銘柄の株価が下落したこと、および為替が対円で下落したことなどから、基準価額は下落しました。

パフォーマンスに影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

(プラス要因)

◎銘柄

- ・「AMAZON.COM INC」：従来よりの主力事業であるオンライン小売業が順調に拡大することに加え、クラウド・サービスのAWS（アマゾン・ウェブ・サービス）などの新規事業も立ち上がるとの見通しから期中に組み入れを行いました。収益が期待通り順調に拡大し、業績に貢献、株価が上昇しました。
- ・「FACEBOOK INC-A」：加入者の増加と、それに伴う広告収入増を予想し組み入れを行いました。加入者数が期待通り拡大したことが好感されました。加入者への広告に対し課金する広告収入も伸び、業績が拡大し、株価の上昇につながりました。

(マイナス要因)

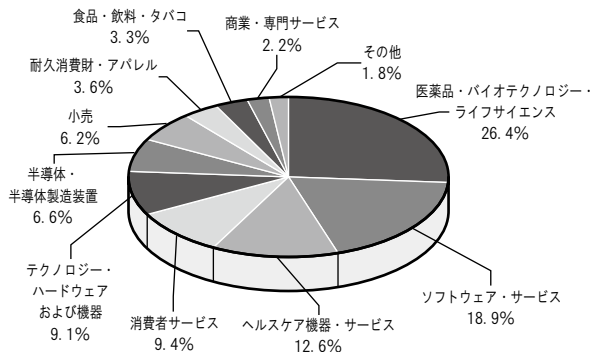
◎銘柄

- ・「GILEAD SCIENCES INC」：新しいバイオ薬の自社開発、他企業買収による新しい収益源の獲得を期待し、組み入れを行いました。しかしながら、自社における新薬開発が順調に進展せず、また既存のC型肝炎治療薬の予想を上回る価格低下により、収益が低迷、株価が下落しました。株価下落により株価水準面での割安感が高まったこと、引き続き買収実施が期待されることなどから継続保有しています。
- ・「APPLE INC」：iPhoneを始めとする主力製品の底堅い需要を予想し、組み入れを行いました。顧客による買い替えサイクルの長期化などを背景に、売上が伸び悩みとなり、株価が下落しました。株価下落により、株価水準面での割安感が高まったことから継続保有しています。

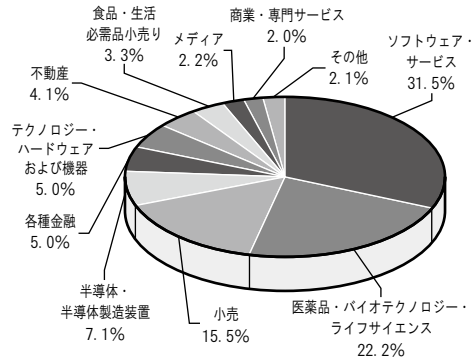
(ご参考)

組入上位10業種

期首 (2015年7月31日)



期末 (2016年8月1日)

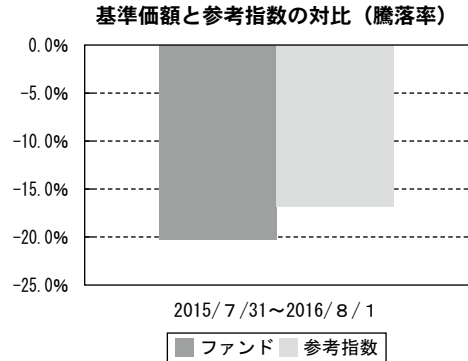


(注) 比率は現物株式評価額に対する割合です。

(注) REITを含めて表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はNASDAQ総合指数（円換算ベース）です。



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 （単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第20期
	2015年8月1日~2016年8月1日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,793

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<三菱UFJ NASDAQオープン Bコース>

◎今後の運用方針

- ・NASDAQマザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

<NASDAQマザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・米国景気は、緩やかなペースながらも方向性としては回復基調にあるとの基本的な見方に変化はありません。しかしながら、足下の強弱入り交じった景気指標、2016年6月の英国のEU離脱などに伴う国際金融市場の混乱が今後米国に与える影響など、不透明感が高まってきたことも事実です。2月の調整以降の市況の戻りのペースが速かったこともあり、不透明要因がある程度払拭されるまで、市況の上値は重いと考えられます。このような環境下、景気の影響を受け易い企業と独自の成長力を有する企業の業績格差は拡大すると思われ、個別銘柄物色の動きが強まると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・NASDAQ市場には、インターネット、半導体、バイオなど、高い収益成長が期待される企業が存在しており、銘柄選定により、高い投資収益を得ることが可能と考えます。
- ・スマートフォン、タブレット・パソコンの普及によりインターネット関連企業は恩恵を受けます。オンライン商取引を行う企業は高成長を遂げています。ソーシャルネットワーク・サイトの運営企業も、モバイル経由のアクセス件数の増加により、確実に恩恵を受けつつあります。また、ゲノム技術を実用化することにより新薬開発件数が拡大、新たな収益拡大期を迎えつつあるバイオ企業にも引き続き注目しています。
- ・銘柄選定にあたっては、フリーキャッシュフロー面からの割安感などにも着目し、成長力のある銘柄に投資することに注力する方針です。

お知らせ

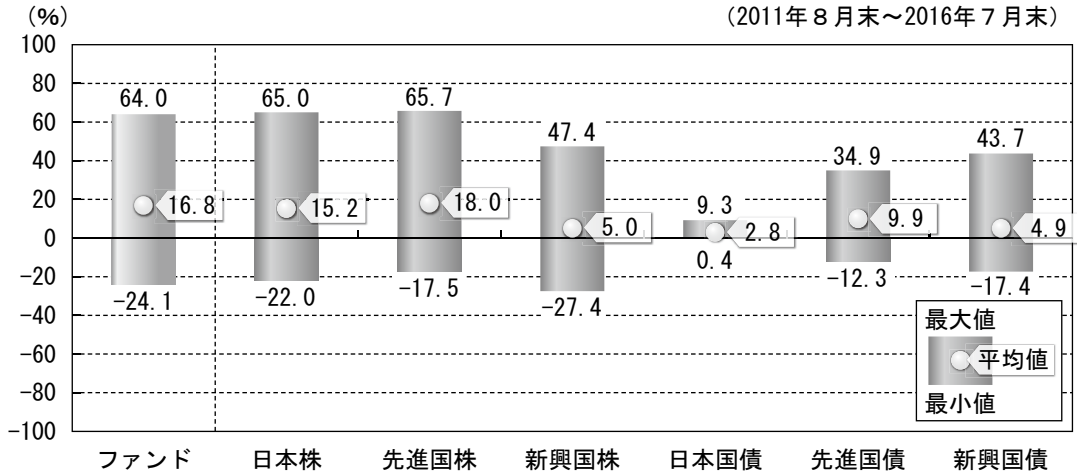
- ①信託期間を従来の2016年7月31日から2021年7月30日へ延長し、信託約款に所要の変更を行いました。(2015年10月31日)
- ②信託財産留保額を従来の換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.5%から同×0.3%へ引き下げ、信託約款に所要の変更を行いました。(2015年10月31日)
- ③2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2021年7月30日 [当初、2016年7月31日] まで (1996年8月1日設定)	
運用方針	マザーファンドを通じて、NASDAQ市場に登録されている株式に投資し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。組入銘柄につきましては、ボトムアップ・アプローチを基本として、個別銘柄のファンダメンタルを重視した銘柄選定を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	NASDAQマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	NASDAQマザーファンド	NASDAQ登録株式を主要投資対象とします。
運用方法	NASDAQ登録株式を実質的な主要投資対象とし、新技術・新製品開発力、すぐれたビジネスモデル、マーケティング力に着目し、長期的な成長が期待できる企業を選定し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2011年8月から2016年7月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

○各資産クラスの指数

- 日本株 : TOPIX (配当込み)
- 先進国株 : MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
- 新興国株 : MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
- 日本国債 : NOMURA-BPI (国債)
- 先進国債 : シティ世界国債インデックス (除く日本)
- 新興国債 : JPMorgan GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2016年8月1日現在)

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第20期末 2016年8月1日
N A S D A Q マ ザ ー フ ァ ン ド	99.7%

・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項 目	第20期末 2016年8月1日
純資産総額	5,149,862,771円
受益権口数	7,226,620,789口
1万口当たり基準価額	7,126円

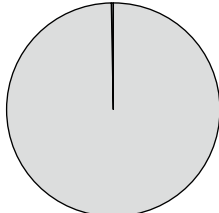
・当期中において
追加設定元本は 1,364,784,345円
同解約元本は 13,921,029,832円です。

種別構成等

【資産別配分】

コール・ローン等

0.3%

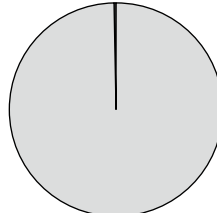


マザーファンド受益証券
99.7%

【国別配分】

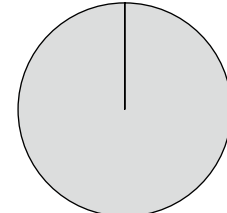
その他

0.3%



日本
99.7%

【通貨別配分】



円
100.0%

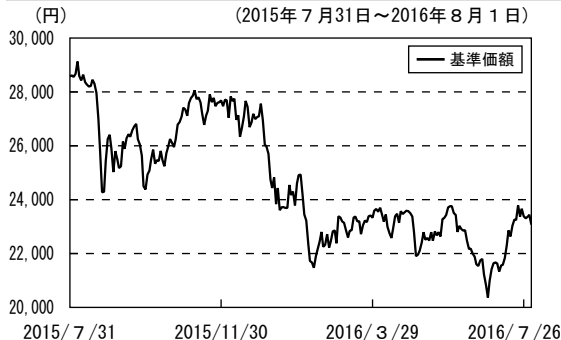
・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

組入上位ファンドの概要

NASDAQマザーファンド

(2016年8月1日現在)

基準価額の推移



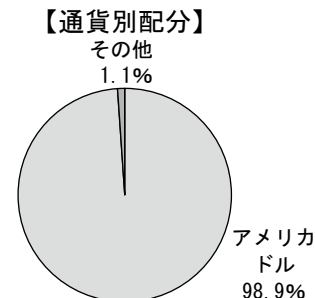
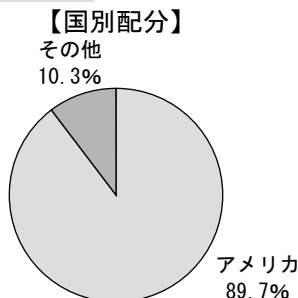
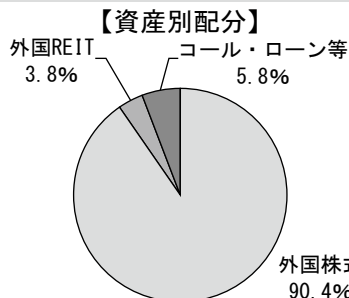
組入上位10銘柄

(組入銘柄数：30銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	ALPHABET INC-CL C	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	9.0%
2	AMAZON.COM INC	株式	アメリカ	小売	8.8%
3	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	8.7%
4	FACEBOOK INC-A	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	7.4%
5	CELGENE CORP	株式	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	5.6%
6	CME GROUP INC	株式	アメリカ	各種金融	4.7%
7	APPLE INC	株式	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.7%
8	SHIRE PLC-ADR	株式	ジャージー	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.5%
9	GILEAD SCIENCES INC	株式	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.4%
10	INTEL CORP	株式	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.4%

- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・REITを含めて表示しています。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含まず。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	112円	0.447%
(株式)	(111)	(0.445)
(投資信託証券)	(1)	(0.003)
(b) 有価証券取引税	1	0.004
(株式)	(1)	(0.004)
(c) その他費用	6	0.024
(保管費用)	(6)	(0.023)
(その他)	(0)	(0.001)
合計	119	0.475

期中の平均基準価額は、24,959円です。

(2015年8月1日～2016年8月1日)

- (注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

968068

指数に関して

○ファンドの参考指数である『NASDAQ総合指数（円換算ベース）』について

NASDAQ総合指数とは、NASDAQ上場全銘柄の時価総額加重平均により算出され、1971年2月5日を基準値100としています。NASDAQ総合指数（円換算ベース）は、NASDAQ総合指数をもとに、委託会社が計算したものです。

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

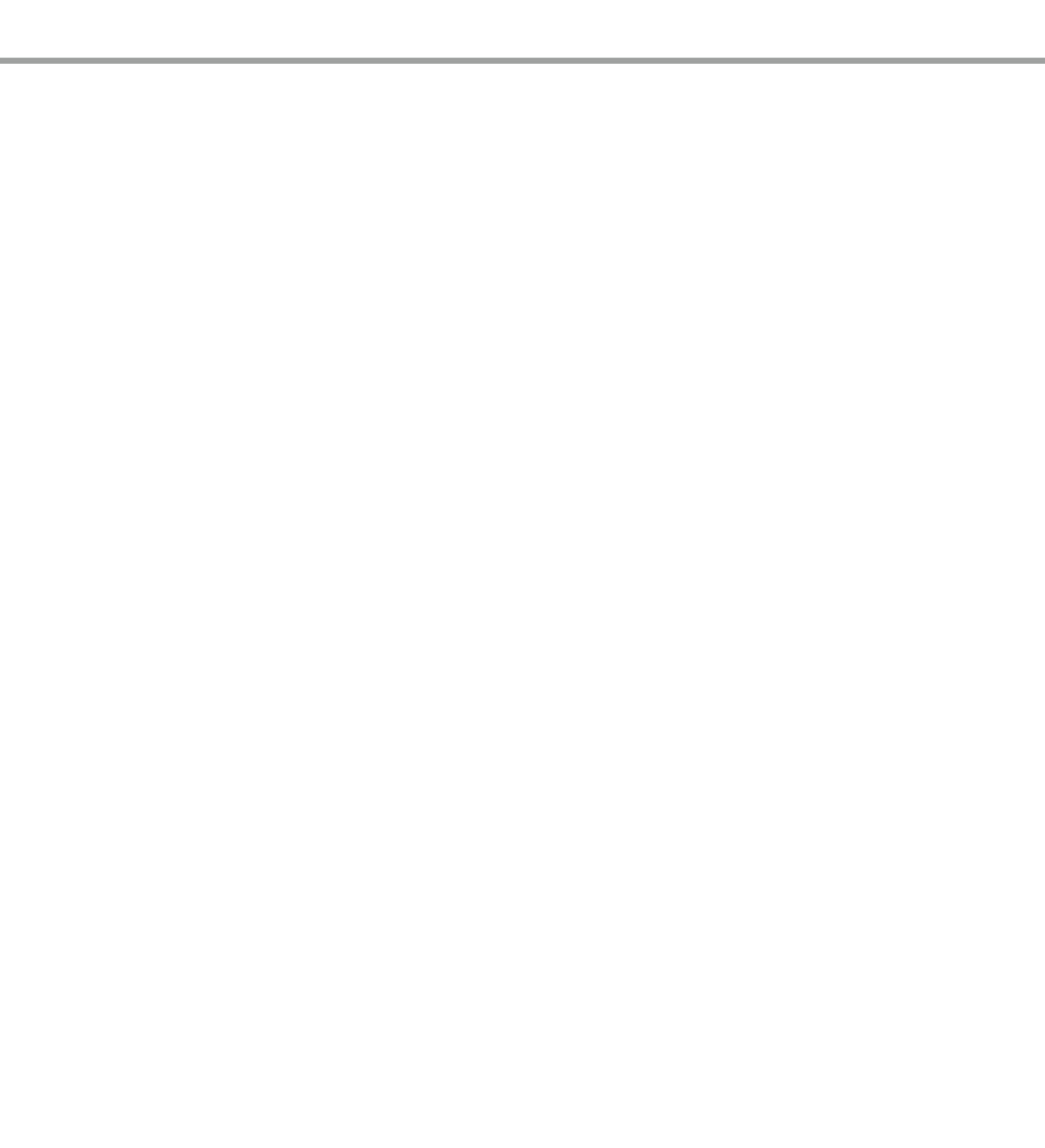
NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

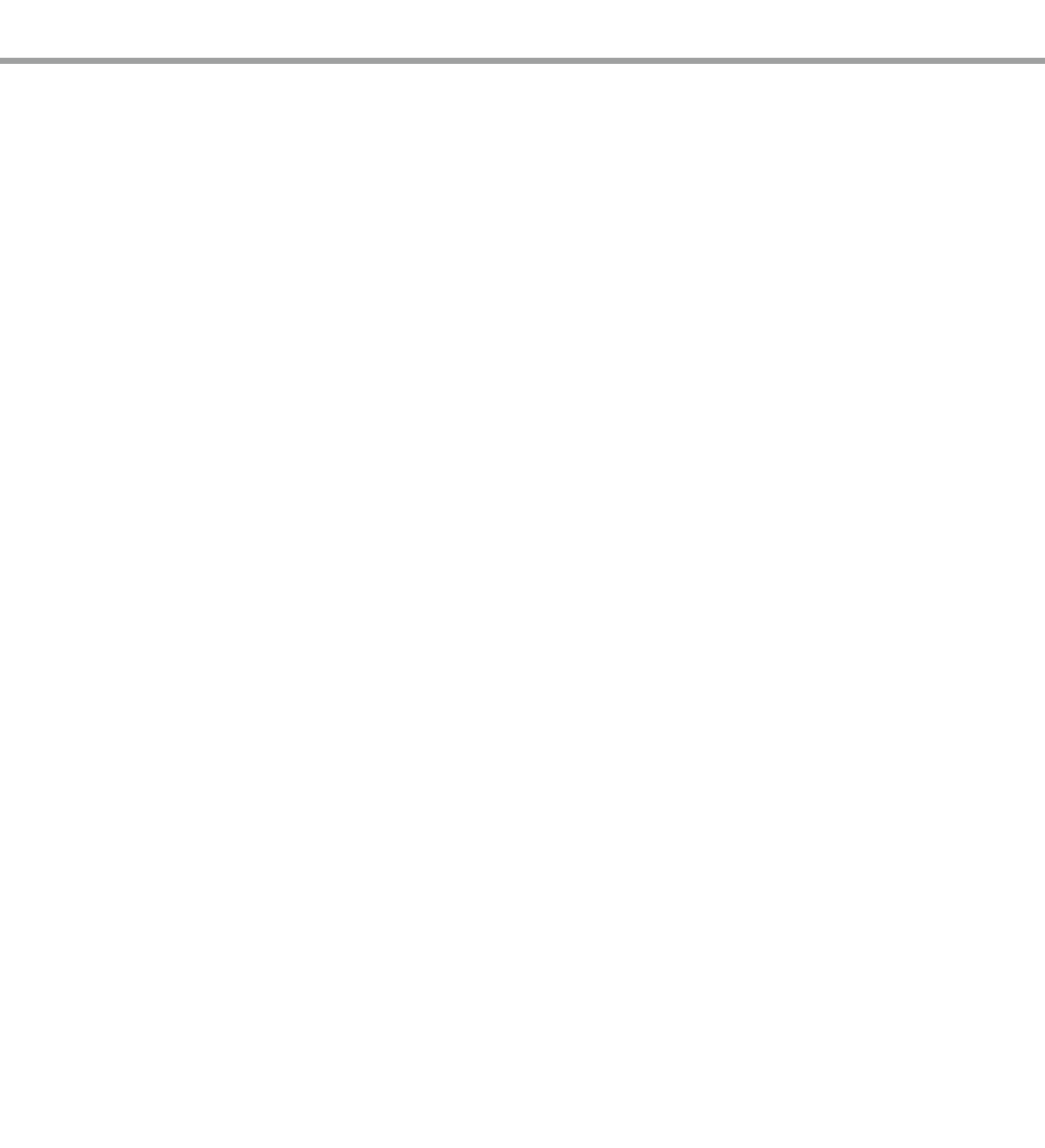
シティ世界国債インデックス（除く日本）

シティ世界国債インデックス（除く日本）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。







三菱UFJ国際投信